



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	認定こども園平岸幼稚園	階数	地上3F 地下1F
建設地	札幌市豊平区平岸3条12丁目41,40-2,46-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域・指定なし	平均居住人員	442 人
建物用途	学校	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
竣工年	2020年3月 竣工	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	1,617 m ²	評価の実施日	2019年8月1日
建築面積	564 m ²	作成者	
延床面積	2,076 m ²	確認日	2019年8月1日
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.6 ★★★★★ B- S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆ 実施設計段階 建設 □ 修繕・更新 □ 解体 □ 運用 □ オンサイト □ オフサイト ① 参照値 100% ② 建築物の取組み 77% ③ 上記+②以外のオンサイト手法 31% ④ 上記+オフサイト手法 17% このグラフは、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量を評価者自身の計算(個別計算)により算出した結果を示しています。LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート(個別計算)」を参照されたい	

2-5 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質					
Q のスコア= 2.3					
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境(敷地内)	
Q1のスコア= 2.6		Q2のスコア= 2.4		Q3のスコア= 1.8	
音環境	2.3	機能性	2.7	生物環境	1.0
温熱環境	2.8	耐用性・信頼性	2.2	まちなみ・景観	2.0
光・視環境	2.8	対応性・更新性	2.4	地域性・アメニティ	2.5
空気質環境	2.6				
LR 環境負荷低減性					
LR のスコア= 3.0					
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
LR1のスコア= 3.6		LR2のスコア= 2.7		LR3のスコア= 2.5	
建物外皮の熱負荷	5.0	水資源保護	3.0	地球温暖化への配慮	3.7
自然エネルギー	3.0	非再生材料の使用削減	2.4	地域環境への配慮	1.1
設備システム効率化	4.3	汚染物質回避	3.3	周辺環境への配慮	2.7
効率の運用	1.0				

3 設計上の配慮事項			
総合		A 省エネルギー	
園児が快適に生活できる環境を、省エネルギーで運営できるよう配慮。		断熱サッシ・LED照明を使用。	
B 省資源等		C 緑化	
躯体と仕上材が容易に分別可能。		園庭に旧園舎よりある桜を保存し、各所に実なる樹木を植栽。	
		D 雪処理	

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	-	BELS認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用		LEED認証	-

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)

認定こども園 平岸幼稚園

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質							2.3
Q1 室内環境				0.40		-	2.6
1 音環境			2.3	0.15	-	-	2.3
1.1 室内騒音レベル			2.0	0.40	-	-	
1.2 遮音			2.3	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能			3.0	0.38	-	-	
2 界壁遮音性能			2.0	0.38	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			2.0	0.25	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	
1.3 吸音			3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境			2.8	0.35	-	-	2.8
2.1 室温制御			2.6	0.50	-	-	
1 室温			3.0	0.60	-	-	
2 外皮性能	省エネ		2.0	0.40	-	-	
3 ゾーン別制御性			-	-	-	-	
2.2 湿度制御			3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式			3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境			2.8	0.25	-	-	2.8
3.1 昼光利用			2.4	0.30	-	-	
1 昼光率			2.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	
3 昼光利用設備	省エネ		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策			3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御	省エネ		3.0	1.00	-	-	
2 映り込み対策			-	-	-	-	
3.3 照度			3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境			2.6	0.25	-	-	2.6
4.1 発生源対策			3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質			3.0	1.00	-	-	
4.2 換気			2.3	0.30	-	-	
1 換気量			3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能			3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理			2.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視			1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御			3.0	0.50	-	-	

Q2 サービス性能			—	0.30	-	-	2.4
1 機能性			2.7	0.40	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			2.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観 (天井高)			1.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3 内装計画			3.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			2.2	0.30	-	-	2.2
2.1 耐震・免震・制震・制振			2.2	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			2.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		省資源	2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		省資源	3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		省資源	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			1.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			1.0	0.20	-	-	
3 電気設備			1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.4	0.30	-	-	2.4
3.1 空間のゆとり			1.8	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			1.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			2.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			2.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			—	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	熱伝導率の低い断熱材、断熱サッシを使用。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 0.67 —	4.3	0.50	-	-	4.3
4 効率的運用			1.0	0.20	-	-	1.0
集合住宅以外の評価			1.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		1.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	—	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	—	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.20	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源	オゾン層破壊係数 0、地球温暖化係数 1以下の断熱材を使用。	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒	省資源		2.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.5
1 地球温暖化への配慮	省資源	評価シートによる自動算出。	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			1.1	0.33	-	-	1.1
2.1 大気汚染防止	省資源		-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 雪処理		1.0	0.67	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			1.3	0.33	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		1.0	0.33	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要						
建物名称	認定こども園平岸幼稚園		BEE	0.6	BEEランク	B ⁻
建物用途	学校					
延床面積	2,075.7	m ²				

2 重点項目への取り組み			レーダーチャート		
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★☆	省エネルギー 性能 省資源等への 取組 緑化への取組 雪処理 ★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上		
	省資源等	★★★☆☆			
	緑化	★★★☆☆			
	雪処理	★★★☆☆			

3. 重点項目のCASBEEスコア									
A 省エネルギー (最高点 23.5 最低点 5.8)				合計		16.5点 / 23.5点			
Q1 温熱環境	スコア	0.6	/ 1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0	/ 4.0		
Q1 光・視環境	スコア	1.3	/ 2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2	/ 2.0		
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	8.6	/ 10.0		
				LR1 効率的運用	スコア	0.8	/ 4.0		
B 省資源等 (最高点 23.7 最低点 7.7)				合計		12.4点 / 23.7点			
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6	/ 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.3	/ 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4	/ 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.5	/ 1.9		
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.7	/ 5.0		
				LR3 地域環境への配慮	スコア	0.9	/ 4.4		
C 緑化 (最高点 16.1 最低点 3.2)				合計		5.4点 / 16.1点			
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9	/ 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.7	/ 3.3		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.4	/ 6.0						
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4	/ 2.3						
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)				合計		0.0点 / 3.0点			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	/ 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0	/ 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数